

見せますよ！「あなたの違反度」 ～ 安全衛生活動への参加の見える化～

1. はじめに

建設現場は、職種の違う多くの工事会社が多くの作業員を使って作業をしており、建設機械の多数稼働している場合もある。そこでは、「ルール」というものが決められており、このルールを守らなければ、重大な災害を起しかねない。ルールには、法律をはじめ社内ルールや発注者からの要求事項などこれも多様である。

当社の一部の事業所では、このルール違反に対して、毎月の協議会などで「安全指摘事項件数集計表」として発表し、改善方法について議論している。職員及び現場の作業員が安全衛生活動に積極的に参加し、まずルール違反を無くそうという「見える化活動」に取り組んでいる。ここでは、その取組み事例を紹介する。

2. 最近の労災・事故トラブルの推移

この事業所では、ここ何年か重大な労働災害は発生していないものの、不休業の労働災害や些細な事故トラブルが何件か発生していた。そして、平成22年には事故トラブルが8件も発生し、平成23年には間違えば、重大災害になりかねない事故を起してしまった。発注者からも再発防止対策を要求される結果になってしまった。図-1に労災・事故トラブルの推移を示す。

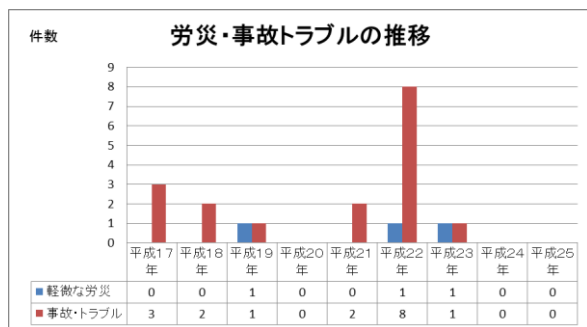


図-1 労災・事故トラブルの推移

3. 危険予知活動シート・点検表

この事業所では再発防止対策に向けての検討会を開催し、その原因を洗い出してみた。すると、労災・事故トラブルを起した業者は、事業所で定めたルールや交通ルールをかなりの数で守っていないことが

判明した。そこで、毎朝、必ず見る危険予知活動シートの中に点検項目を盛り込んだ。図-2に危険予知活動シート・点検表を示す。

職長は、毎朝点検項目について、作業員に周知し自らは、午前・午後・任意な時間に点検を行うこととした。また、職員はこの点検項目の他に、毎日ルール違反についてのパトロールを行った。



図-2 危険予知活動シート・点検表

4. 「違反度」の発表

毎月の協議会で、職員の行なったパトロールの結果を、図-3「安全指摘事項件数集計表」を利用して発表した。

図-3 安全指摘事項件数集計表

5. おわりに

平成23年までは、何かと事故やトラブルが発生していたが、平成23年9月にこの「見える化」運動を導入して以来、2年間この事業所では無事故・無災害を達成している。「見える化」の効果は上がっていると思う。ただし、油断は禁物であり、安全活動に終わりは無いと思っている。